

<事業報告>

詳細は19年度活動報告書参照。

1. 会議体関係

- ・理事会、総会、対外加盟団体の県レク理事会・評議員会等は計画通り対応した。
ただし県レクの3月理事会・評議員会は中止となった。
秋の理事会で21年度以降の執行体制(役員、運営分担等)と基本スタンスについて、現状課題を提起しディスカッションの結果、後日別に場を設け継続協議することにしていたがそのままになってしまった。

2. 主催・主管イベント

(1).オリエンテーリング大会の開催

- ・くらしき山陽ハイツからの依頼で急遽4月に開催し、12月に予定の福田公園はリニューアル工事継続のため吉備中央公園に変更し開催した。恒例の吉備高原県民大会は直前コロナにより施設利用不可になったため急遽中止し、結局昨年同様5大会開催となった。
参加者総数は個人190名、Gr51組147名で前年度の個人152名、Gr63組169名から微増となったが、初めての山陽ハイツを除くいずれの大会も個人競技者は昨年より約2割増と1昨年レベルに戻った。

(2).その他イベントの開催

- ・大会運営全般研修会と基本技術教室兼練習会を開催しいずれも6名の参加があった。

3. 協力イベント

- ・協同組合おかやま医療法人ネットワークの研修オリエンテーリングを白石島で開催した。(51名参加)
- ・運営協力予定の白石島トレイルラン、および(協)おかやま医療福祉N/W秋の研修は、いずれも先方都合により中止となった。

4. その他の取り組み

- ・大会開催に合わせたのOMAP作成整備(マーキング含め延べ12日、前年は18日)
- ・大会運営研修会開催に合わせ大会運営手順マニュアルを見直した。
- ・由加山の33か所観音巡りの南エリアを含め引き続き調査の予定であったが施設休止に伴い中断した。
- ・全日本リレーは残念ながらふるさと登録を含め応募がなく派遣できなかった。
- ・ねんりんピック和歌山2019への選手派遣は県、岡山市とも応募がなかった。
- ・競技者登録、認定指導者の更新登録およびスポーツ安全保険加入事務は引き続き対応した。
- ・JOAから第3回AsJYOCへの寄附のお願いがあったので、MLで募り会長はじめ5名から25,000円が集まり寄付した。
- ・近畿OL連絡会の大会開催日程調整に引き続き参画した。
- ・資産の維持管理、情報収集と広報等含め事務局定例業務は通常通り実施。

<会計報告>

詳細は19年度収支決算報告書参照。

・収入

吉備高原大会の中止、および例年その時の3月に集金していたスポ安保険料、競技者登録料、認定指導者登録料が集められず20年度に繰り越しとなったためなどで期首計画より約13万円減。

・支出

期首計画より約14万円減。主な増はEMIT関係補充費6万円。主な減はイベント運営費6万円とJOAへの支払い時期が20年度に延期になったための登録料の6万円など。

- ・収支は期首計画に対し約3万円減の0.7万円のプラスとなった(前年は3.5万円のマイナス)

<総括>

- ・イベント参加者は前年より増えたが、他と競合しない日程、山陽ハイツの弁当入浴券付き、新見での猪汁提供などが好印象になったのかもしれない。この状況で推移すれば収支面でもなんとかトントンで行けそうである。検証と改善策を継続検討する。
- ・引き続き後期高齢者がどんどん増え、現執行体制では本当に土曜日で後がなくなって来ており、アクセシビリティにも対応できる運営体制の確認と構築が必要。

以上